

深いところで3.5m、浅いところでも2.5m程の深さに管を埋めていきます。地域の皆さまには長期間に渡り通行止めなどご迷惑をおかけします。



雨水管理設工事

平成29年度予算

福生市では平成28年度から新公会計制度による財務会計処理を実施しています。

平成29年度予算審査では2度目の新公会計制度に基づく審査が行われました。本年9月に行われる平成28年度決算審査では初めての新公会計制度に基づく審査が行われる予定です。

予算審査を通じて分かったことは（実は初の審査となった昨年は委員長を務めたため、実際の審査はこれが初めて）、事業ごとの予算

内訳が明らかになりとてもわかりやすくなったことです。決算時には新たに貸借対照表や事業別コスト計算書などの財務諸表が作成されますので、従来に増してコスト意識が高まるものと期待します。

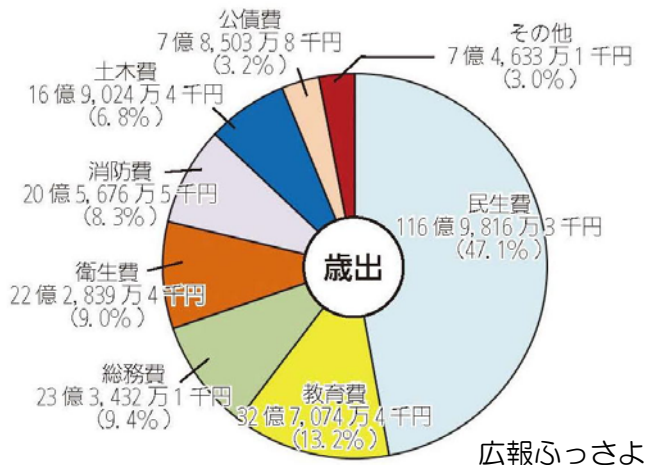
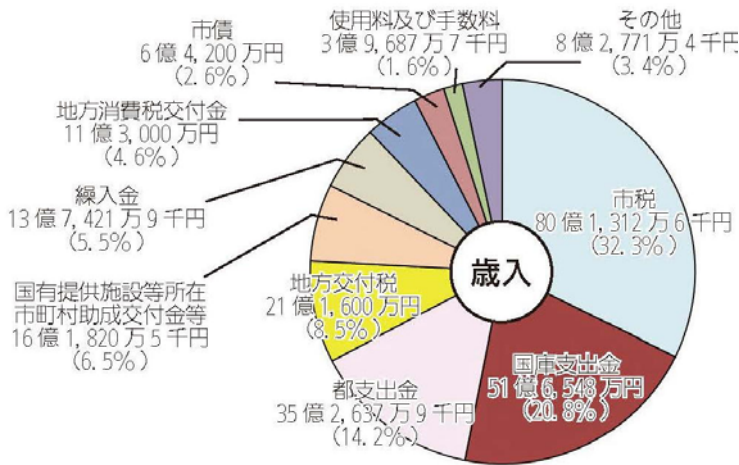
一般会計の予算額は、歳入歳出それぞれ248億1000万円と定められました。平成28年度に比べて7000万円、0.3%の減となりますが、特別会計等を加えた総合計は396億6692万7千円となり、平成28年度に比べて1億6851万6千円、0.4%の増になります。特に後期高齢者医療特別会計が4.2%、介護保険特別会計が2.8%、国民健康保険特別会計が1.06%の増となったものです。

一般会計歳入・歳出の内訳を広報ふっさのグラフをもとに最下段に示します。歳入では、市税が80億1313万円（1.09%増）、基地交付金が16億1821万円（1.24%増）、国・都支出金が86億9185万円（3.15%減）、市債（借金）が6億4200万円（18.7%減）などです。内は平成28年度予算との比較です。一方、歳出では民生費が116億9813万円（1.33%増）と

歳出全体の47.1%を占めています。力を入れている教育費は32億7074万円（17.3%増）で昨年に続き第2位となります。

教育費の主な事業としては、①言語障害通級指導学級整備事業（1374万8千円）、第七小学校の言語障害通級指導学級の教室を整備、②個別学習用タブレットの貸与（1283万4千円）、小学3年生全員を対象に個別学習用タブレット端末を貸与し、学習ドリル教材ソフトウェアを利用した学習を実施、③ふっさっ子グローバルヴィレッジ事業（525万4千円）、小学5・6年生および中学生を対象に、グローバルな人材としての資質を育むための異文化交流を、国内の宿泊施設で実施、などです。（広報ふっさの記事より）

タブレット学習については産官学共同による実証実験の結果導入するもので、小学4年生までに算数の基礎ができあがるという学術理論に基づき3年生に貸与するものです。また、グローバルヴィレッジ事業は従来の青少年海外派遣事業に代わるもので、より多くの児童生徒に体験してもらうため国内の施設で体験学習を行うものです。



広報ふっさより

